

和歌山への提言

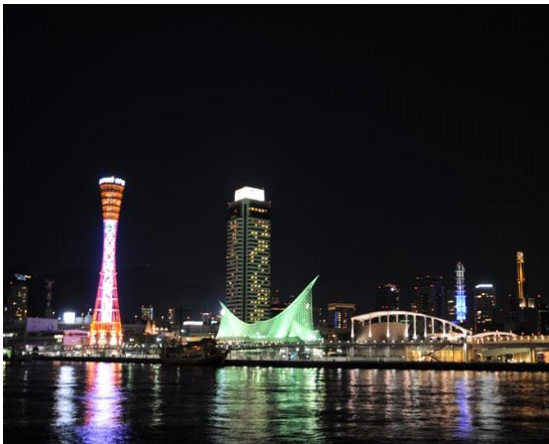
システム工学部 陳雲超

学籍番号 60172032

科目 日本事情 担当先生 長友文子

私は今年の四月に和歌山に引っ越してきました、この前は兵庫県の神戸市に2年ぐらい住みました、まず神戸と和歌山を比べて話します。

神戸は和歌山と同じように港町です。神戸の港の近くには大きいショッピングセンターよか、デパートとかたくさんあって、また、遊園地もあるし、料理店もいっぱいあります、とてもにぎやかな場所です。



(神戸ハーバーランド)

この前和歌山の花火大会のときに和歌山の港のほうに行きました、でも観光地というイメージがあまりしませんでした、やはり神戸のように港の周辺を力を入れて開発して、でも和歌山の港しかない観光スポットを造らないといけない、たとえば、神戸のMOSAICは昔の倉庫から改造して、今港のほうの代表的の建物になりました、こういうふうには人をたくさん集めることができ、だんだん和歌山の港も和歌山の有名な観光スポットになれると思います。

また、和歌山の代表的の観光地和歌山城ですが、今年の四月に桜の満開のときに一回訪れました、和歌山城の規模の雄大さや風に吹かれて、舞いながら落ちていたさくらの花びらに惹かれました、でも、そのときにここで城を見ながら、和歌山ならではの食べ物を食べてみたいと私が思いました、そして、一生懸命で探したけど、あげくの果たて、何も見つけていませんでした。京都の清水お寺と言っても、私の故郷と言っても、この町の

代表的な文化遺産の近くに必ず食文化を表わせる有名な料理店や手作りの工芸品などの町の特徴を表わすものがあるはずで、たとえば、京都の清水お寺の前に宇治抹茶や京扇子などのお土産を販売店がいっぱいあるので、観光客が直感にこの町の雰囲気を感じるこゝがてき、しかも、当地の人たちがお土産を作ることや売ること一つの産業として、町の経済に有利です。



(京都清水お寺前の店の中で売っているお土産)

和歌山が一つ神戸や大阪と違うところは日本の伝統的な建物がたくさん残っているところです、私の故郷ではある古い建物をたくさん残っている場所があります、20年前に、当時の政府がこの地域の古い建物の安全性から考えて、一回潰して、そして新しいマンションを建てるつもりでした、でも最後にやはり町の文化を残したいという意見が強くて、そのまま残して、破れたところが昔のままで修理して、それに、いろいろな特徴のある店がそれらの建物を使って、営業し始めました。今はその地域が私の町に訪れる観光客が必ず行く観光スポットとなりました。私の考えには、和歌山もそれらの和風建物を和歌山ラーメンを食べられる店とか、和歌山の特徴あるいは日本の特徴のある店を開発すれば、私たちのような留学生や外国の観光客を和歌山の文化体験する場所にもなれるのではないでしょうかとわたしがそう思われます。



(私の故郷の観光スッポト)

以上三つの点から見ると、特徴と言うのはやはり大切だと思います。今の世界の町々が多く高いビルを立てるのを夢中になってしまう。こうすると、どこの国でも、町でも見かけが同じになってしまっていて、これが恐ろしいことだと思います、どんな町でも、町の魂とするものを失ってはいけません、むしろ和歌山のように歴史の豊かな町です、自分の町ならではのところを見つけて、そしてこういうところを外の人たちに伝えるのは一つ大切なステップです、その方法は上の提言に書いてあるように、名所のところにお土産などの店も作って、観光客が実際に当地の文化を体験できる機会を中心にと、また日本の少子化がだんだん深刻になる一方ですが、地域の人口の数をどうやって守るのは今はとても重要な課題だと思います、ここに住んでいる若者たちや外の人たちが和歌山がいいという考えを持たせるために、町の特徴を明らかに、また、外の人たちに和歌山の魂を宣伝するのは私は和歌山市への提言です。